

令和 4 年 3 月 31 日

報道関係各位

NEWS RELEASE

明
薬

明治薬科大学

第 107 回 薬剤師国家試験 本学の合格率について

令和 4 年 3 月 24 日、厚生労働省において、第 107 回 薬剤師国家試験の合格者発表が行われました。これを受けて、本学では、これまでの合格率等について取りまとめましたので、ご報告申し上げます。



お問い合わせ先：学校法人明治薬科大学 広報課
東京都清瀬市野塩 2-522-1
TEL. 042-495-8615 FAX. 042-495-8612
担当：高橋 靖拡
(e-mail) koho@my-pharm.ac.jp

学校法人 明治薬科大学

令和4年3月24日、厚生労働省において、第107回 薬剤師国家試験の合格者発表が行われました。

本学の合格者は、6年制卒業者の「新卒」では261名（合格率91.90%）、総数としては304名（合格率83.52%）との結果になっております。一方、薬剤師の6年制教育が始まって以来、2012年～今回（2022年）の11年間の本学の総合格率は96.85%（新卒・既卒の合計で計算）となります。

これは、本学を卒業した者のほとんどが、薬剤師国家試験に合格していることを示すものであります。詳細は、別紙をご参照ください。

前回から適用された「新薬剤師国家試験出題基準」の新規項目や新傾向の問題が、今回の国家試験においても多く出題されました。また、全ての科目で医療や臨床に関連した問題が多くなり、実務に即した複合的な知識が求められています。さらに、科目の垣根を超えた連問や医薬品の構造、図表、検査値などをもとに検討する「考える力」を必要とする問題も前回同様、多数出題されました。かかりつけ薬剤師、チーム医療や処方支援など、薬剤師の職能を発揮するための知識や臨床現場での的確な判断能力が求められていることが伺える内容でした。

令和元年に改正された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（薬機法）の趣旨、さらには近年の社会が求める薬剤師像などに鑑み、薬剤師国家試験の内容は年々、難化する傾向にあるといえます。

そのような中であっても、本学が高い合格率をご報告できる背景には、まずは基礎系教育の充実により学生に十分な「基本」を身につけさせた上で、さらには、特色ある7コース（病院薬学、地域医療、臨床開発、健康薬学、伝統医療薬学、薬学研究、海外医療研修の各コース）の独自研修カリキュラム等により、学生の多様な進路に即した経験と実践力を養成していること等が挙げられると考えております。

今後も、本学では、いっそうの教育成果を上げることができるよう、大学が一丸となって取り組んで参りたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

学校法人 明治薬科大学 理事長 佐川 賢一
明治薬科大学 学長 越前 宏俊
国家試験・CBT 対策委員長 浦辺 宏明

別紙

第107回 薬剤師国家試験		本学			私立 全体 合格率	全国総計 合格率
		受験者数	合格者数	合格率		
総数		364名	304名	83.52%	66.96%	68.02%
6年制	新卒	284名	261名	91.90%	84.72%	85.24%
	既卒	75名	40名	53.33%	40.64%	40.75%
その他		5名	3名	60.00%	14.52%	39.26%

本学**新卒者**の薬剤師国家試験合格率の推移

新卒者	第1期生 (97回)	第2期生 (98回)	第3期生 (99回)	第4期生 (100回)	第5期生 (101回)	第6期生 (102回)	第7期生 (103回)	第8期生 (104回)
合格率	98.00%	91.52%	84.72%	90.32%	96.33%	93.59%	92.00%	92.44%
第9期生 (105回)	第10期生 (106回)	第11期生 (107回)	第1～11期 生平均					
95.09%	90.94%	91.90%	92.44%					

第1期（97回）～第11期（107回）本学卒業生の薬剤師国家試験合格率（通算）

卒業生数	合格者数	不合格者数	合格率
3,334名	3,229名	105名	96.85%

（注）2006年に薬学の正規の課程が6年制となり、第1期（2012年）が1回目の受験者

第1期～第11期

本学卒業生の薬剤師国家試験合格率

合格率 96.85%